

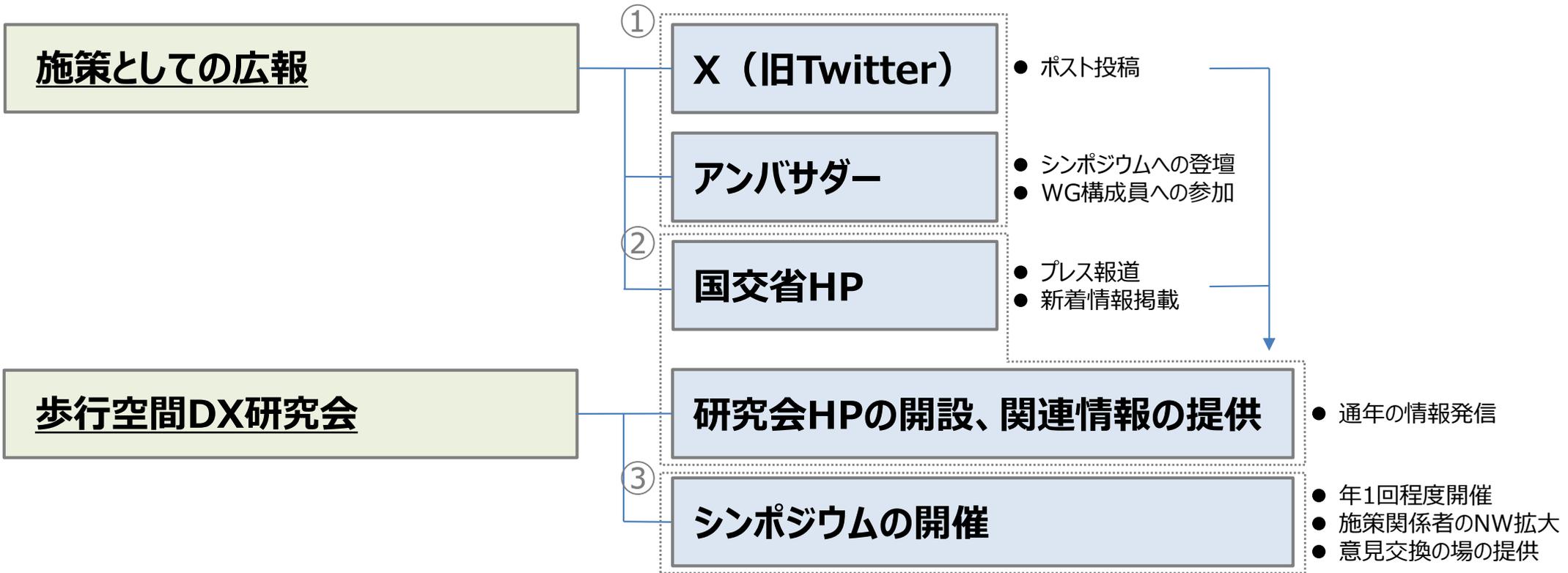
広報活動の実施状況

令和5年12月
政策統括官付

今年度の広報活動の方針について

- 従来の広報に加え、提言を踏まえた歩行空間DX研究会としての活動を展開。
- 自治体や民間事業者、障害者団体、一般市民含め広く認知度を上げるため、X（旧Twitter）やHP、シンポジウムなどにより効果的な広報を実施する方針。

広報活動の体系フロー

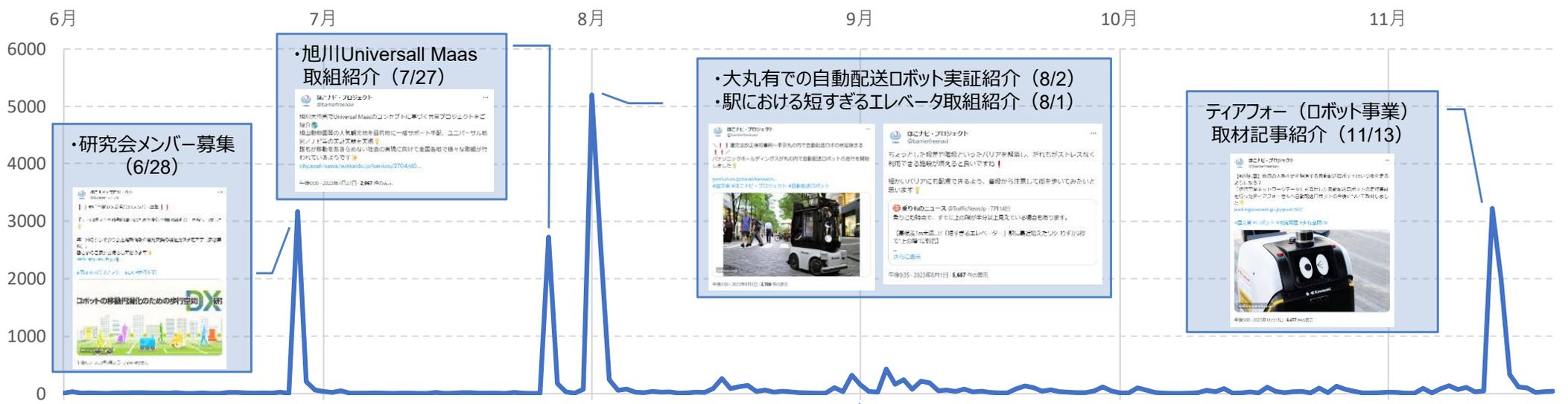


① X(旧Twitter)を活用した広報活動



「リポスト」や「いいね」が多い月は、インプレッション数も上昇傾向。「リポスト」や「いいね」等によるポストの拡散は、イベント関係情報やフォロワー数の多いユーザー（インフルエンサー）から反応をもらうことで、より多くのユーザーへの周知効果が期待。

＜X投稿のインプレッション数（表示回数）推移＞



＜月別の投稿 集計結果＞

集計月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
フォロワー数	182	186	187	188	189	190
新規投稿数	1	1	9	8	5	6
リポスト数	3	2	21	14	10	12
いいね数	3	1	35	18	9	22
インプレッション数	3,872	2,967	10,442	1,764	663	5,909

Twitter ← X
7月26日移行
TwitterからXの移行による集計アルゴリズムが変化

リポスト数・投稿を他ユーザーが引用し、再投稿した回数 いいね数・投稿が他ユーザーのお気に入り登録され、共感を示された回数 インプレッション・投稿が他ユーザーの画面に表示された回数

(参考) インプレッション数上位の投稿内容



	内容	リポスト (リツイート)	いいね	インプレッション	投稿月	ポスト (ツイート)
1	ちょっとした段差や階段といったバリアを解消し、だれもがストレスなく利用できる施設が増えると良いですね！ 細かいバリアにも配慮できるよう、普段から注意して街を歩きたいと思います📍	3	6	5,659	8月	
2	【取材記事】物流の人手不足を解消する自動配送ロボットはいつ街を走るようになる？ 「歩行空間ネットワークデータ」を活用した自動配送ロボットの走行実証を行ったティアフォーさんへ自動配送ロボットの今後について取材しました📍	5	14	5,477	11月	
3	！！歩行空間DX研究会のメンバー募集！！ 「人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間DX研究会」を設立しました📍年1回のシンポジウムと最新情報や意見交換の場を提供予定です（参加無料）。皆さまのご参加お待ちしております📍	3	3	3,807	6月	
4	旭川大雪圏でUniversal Maasのコンセプトに基づく共同プロジェクトをご紹介📍 旭山動物園等の人気観光地を目的地に一括サポート手配、ユニバーサル地図／ナビ等の実証実験を実施📍 誰もが移動をあきらめない社会の実現に向けて全国各地で様々な取組が行われているようです📍	2	1	2,964	7月	
5	！！道交法改正後初事例～東京丸の内～自動配送ロボットの検証始まる！！ パナソニックホールディングスが丸の内～自動配送ロボットの走行を開始しました📍	4	4	2,691	8月	
6	！新大阪駅ホームに「車いす」スロープ常設へ！ ホームと車両の隙間を埋めることで車いすの方も自力で乗り降りができるようになる車いすスロープが新大阪駅に設置されます！	4	8	777	8月	
7	！リマインド！ ！以前ご紹介した電動車イスの無料体験会が明日9/9（土）越谷駅で開催予定📍 ※台風13号の接近につき、悪天候により「ななサポまつり」が中止の場合には体験会も中止となります。	0	3	429	9月	

今後のX(旧Twitter)の投稿方針について



フォロワー数の多いユーザーからの「いいね」「リポスト」の促進

取材記事をHPで掲載し、Xで記事を紹介



取材記事 (研究会HP)



ポスト (X)

いいね・リポストによる拡散



午後11:45・2023年11月13日・4,025 件の表示

フォロワーの多いユーザー（インフルエンサー）から「いいね」「リポスト」などの反応による投稿の表示回数の上昇・施策に関する取組の周知を期待

アンバサダーによる研究会・WGの活動報告の周知

研究会・WG等の活動報告



活動報告 (研究会HP)



開催報告 (X)

アンバサダーからの投稿



アンバサダー



網本 麻里
車いすバスケットボール選手



瀬立 モニカ
パラカヌー選手

「ポスト」「いいね」など

多くのフォロワーをもつアンバサダーのXアカウントで、研究会・WGなどの活動報告をポストしてもらうことで一般の方にも広く施策を周知

②人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間DX研究会ホームページ

令和5年6月に歩行空間DX研究会の設立に合わせて、新規ホームページを開設。研究会メンバーの参加フォームを設けるとともに、ワーキングの活動状況報告、独自の取材記事等を発信。

新規HPの開設及び参加ホームの設置

研究会について 活動報告 参加申し込み 問合せ

研究会の設立主旨

国土交通省では、ユニバーサル社会の実現に向けた施策の一環として、歩行空間における段差や急勾配といったバリアを避けた最短ルート選択や案内が可能となる等、デジタルを活用したサービス（通称：歩行空間ナビ）の普及・高度化を図るべく、様々な取組を進めています。

歩行空間ナビには、バリアの情報等を含むネットワークデータが用いられます。このデータを用いると、車椅子利用者やベビーカー利用者のみならず、今後様々な現場での活躍が期待されている自動配送ロボットや自動運転車椅子等も、任意の出発地から目的地までバリアを避けた最短ルートを移動することが可能となります。

今後、このような観点で人やロボットが円滑に移動できる環境をより早期に実現することを目指し、広く関係者の皆様方と最新の技術や研究、事業、取組等に関する情報共有や意見交換を行うことを目的に、「人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間DX研究会」を設立しました。

本研究会の趣旨や活動にご関心のある皆様方からの多くのご参加をお待ちしております。

ワーキンググループ活動報告

活動報告

イベント

- 2023.02.28 令和5年度第2回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました
- 2023.03.05 令和5年度第2回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催しました
- 2023.06.21 令和5年度第1回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました
- 2023.06.21 令和5年度第1回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催しました

令和5年度第1回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました

2024年6月23日 開催

令和5年度第1回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」が、2024年6月23日（金）に国土交通省内で開催されました。

本ワーキンググループは、「歩行空間における移動支援サービスのDXによる普及・高度化の実現」に向けた提議（2023年3月）を踏まえ、人やロボットが円滑に移動するためのデータ（歩行空間ネットワークデータ、バリアフリーデータ等）のあり方や、整備・更新・運用方法、オープンデータ化の普及促進に関するテーマについて議論するため、今年度より新たに発足しました。

ワーキンググループとして、東洋大学・京府教授をはじめとした4名の有識者や自治体、関係省庁、歩行空間のデータを活用する各事業者の皆様にご参加いただいたほか、その他アドバイザーの方々にもご参加いただいております。

第1回となる今回のワーキングでは、国土交通省で実施している歩行空間の移動支援に向けた取組をはじめ、歩行空間ネットワークデータ等整備状況の改訂検討、また今後の展開・実証を予定している歩行空間ナビゲーションデータプラットフォーム（通称：「ほこナビSP」）に関して、活発な議論が行われました。

議事録に関しては、下記国土交通省のHPよりご覧ください。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000048.html

独自取材記事の発信

物流の人手不足を解消する自動配送ロボットはいつ街を走るようになる？ティアフォーの岡崎さんに聞いてみた

2024年4月1日に東京湾岸交通法が施行され、人が遠隔操作する自動配送ロボット（物流倉庫や小売店舗などの建物・施設を配達するロボット）の公道走行が解禁されました。これにより、自動配送ロボットを使った宅配をはじめとするサービス実用化へ向け、企業界が社会実装の動きを活発にさせています。

自動配送ロボットが公道走行するには歩行者と同じ歩道や歩道帯となっており、安全に走るためには、道幅や横断などの詳細な道路情報が不可欠です。国土交通省ではそうした情報を収集した「歩行空間ネットワークデータ」のオープンデータ化を推進しており、自動配送ロボットの開発・運用に活用されるのではないかと期待を寄せています。

今回は、「歩行空間ネットワークデータ」を実用化に活用して自動配送ロボットの実証実験を行う株式会社ティアフォー（TEIAFO） Vice President 岡崎一彦さんに、今後実用性を増やす「歩行空間ネットワークデータ」というオープンデータの可能性や、自動配送ロボットを取り巻く現状についてお話をしました。

歩行空間DX研究会ホームページへのアクセス状況



検索エンジン（Google、bing、Yahoo）のキーワード検索による活動報告のコンテンツへのアクセス数が多い。一方、国交省HPから、研究会HP自体へのアクセス数は最多だが、活動報告のコンテンツへのアクセス数が少なく、また、Xからは研究会HP自体へのアクセス数が少なく改善が必要な状況。

〈研究会HPへのアクセス数推移〉



〈研究会ホームページ プレビュー数 集計結果〉

研究会HPへのアクセス	公開日	研究会HPへのアクセス元			表示回数 (合計)
		検索エンジン	国交省HP	X	
研究会HP トップページ	6/20	389	829	66	1249
令和5年度第1回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催しました	8/18	79	4	1	82
令和5年度第1回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました	8/18	63	6	0	64
令和5年度第2回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催しました	10/19	14	3	3	20
物流の人手不足を解消する自動配送ロボットはいつ街を走るようになる？ティアフォーの岡崎さんに聞いてみた	11/2	10	0	45	6
令和5年度第2回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました	11/6	8	0	3	5

今後のホームページ等の改善方針について



国交省HPからのアクセス誘導促進 (国交省HPのリニューアル)

国交省HPから研究会HPへアクセスしやすいよう国交省HPをリニューアルするとともに、活動報告のページへダイレクトにアクセスできるようにアレンジ

現 国交省HP



新 国交省HP (リニューアル案)



活動報告

研究会トップページの レイアウト変更

研究会トップページから活動報告のページへダイレクトにアクセスができるようレイアウトを変更

研究会HP



活動報告をトップページに表示

活動報告



Xからのアクセス誘導促進

投稿するSNSに研究会HPのリンクを貼付けアクセスを促進

Xポスト



取材記事ページ



メーリングリストを 活用した情報発信

研究会メンバーのメーリングリストへの情報発信
(Xへのフォロー促進含む)



例) 国交省プレス時や独自取材記事作成時に情報発信

現行の国土交通省ホームページのレイアウト構成を一新し、12月中にリニューアルを予定。

歩行空間ナビ・プロジェクトホームページ構成（案）



<施策概要>

- 施策の概要説明
- 施策の詳細ページへのリンク

<広報関係>

- 研究会HPリンク
- シンポジウム等のイベント専用ページへのリンク
- X (旧Twitter) リンク

<ニュース一覧>

- プレス報道
- イベント等に関するお知らせ

<研究会 活動報告>

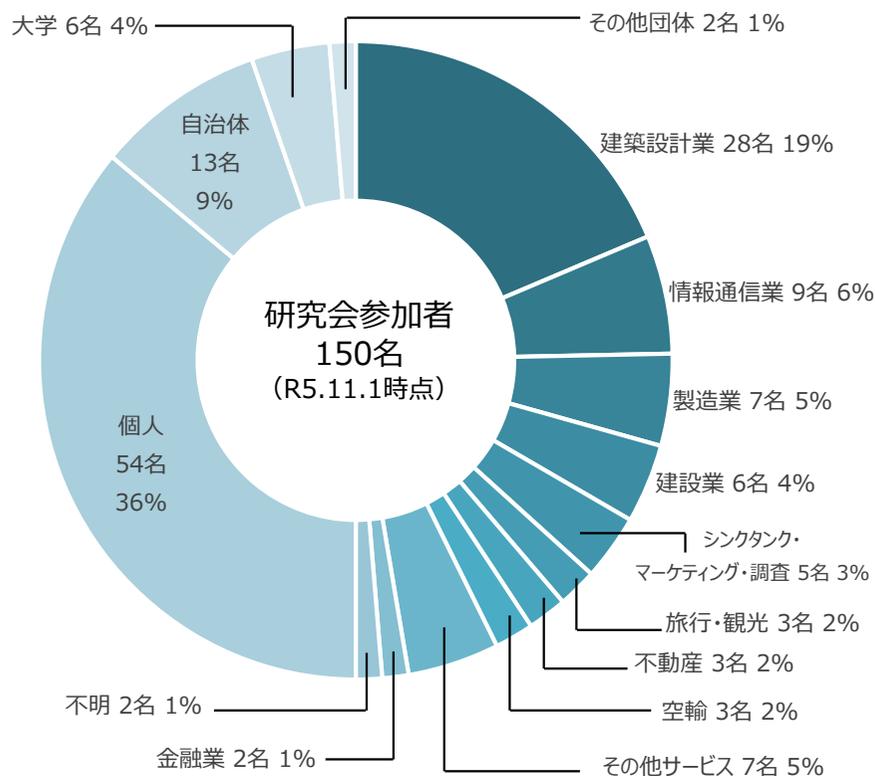
- 取材記事ページへのリンク
- WG等の活動報告へのリンク

<委員会・WG・ほこナビDP関連>

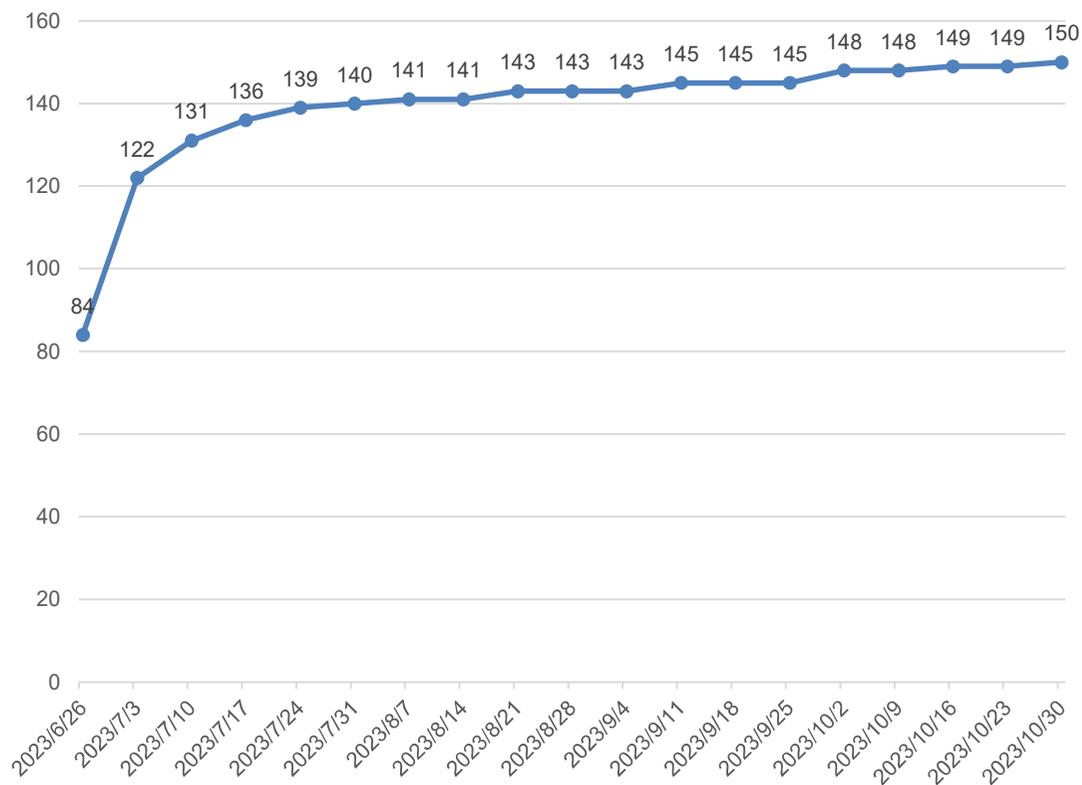
- 委員会ページへのリンク
- WGページへのリンク
- ほこナビDP (オープンデータサイト・データ整備システム)
- 整備仕様・ガイドラインへのリンク

- 研究会の所属別分類では、民間企業、一般市民に次いで自治体が多い。
- 研究会の設置・ホームページの新規開設に合わせて参加登録者数は増加するも、以降、微増傾向。
- 研究会メンバーへの情報発信やシンポジウムの開催などを通じて、更なる関係者のネットワーク拡大を図る方針。

参加登録者の分類



研究会への会員申込み数推移



※研究会への参加は、本研究会の目的の実現に意欲的な個人として募集

③ 歩行空間DX研究会シンポジウムについて

- 研究会の活動として、第1回「歩行空間DX研究会シンポジウム」を令和6年1月16日に開催。
- 『持続可能な移動支援サービスの普及・展開に向けて』をテーマとし、有識者、民間事業者、行政等の関係者にご登壇いただき、基調講演、取組紹介、パネルディスカッション等による意見交換・情報共有を実施。



- 歩行空間DX研究会 シンポジウム ～「持続可能」な移動支援サービスの普及・展開に向けて～
- 開催日程：令和6年1月16日（火）15：00～17：30
- 会場：東洋大学 INIAD／オンライン（同時配信）

シンポジウムの構成(案)について



時間	時間	タイトル	ご登壇者
15:00-15:05	5分	開会挨拶	国土交通省 政策統括官 小善 真司
第1部	プロジェクト紹介・プレゼンテーション		
15:05-15:15	10分	歩行空間DX研究会への期待	東洋大学情報連携学部INIAD学部長 坂村 健
15:15-15:45	30分	基調講演 技術・データ活用政策の最新情勢と本プロジェクトへの期待(仮)	内閣総理大臣補佐官 森 昌文
15:45-15:55	10分	取組報告 「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」	東洋大学情報連携学部 情報連携学科教授 別所 正博
15:55-16:05	10分	取組報告 「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」	日本大学理工学部 交通システム工学科教授 佐田 達典
第2部	パネルディスカッション ～「持続可能」な移動支援サービスの普及・展開に向けて～		
16:15-17:30	75分	持続可能な移動支援サービスの普及・展開に向けて	コーディネーター： ・東洋大学情報連携学部INIAD学部長 坂村 健 パネリスト： ・東洋大学情報連携学部 情報連携学科教授 別所 正博 ・日本大学理工学部 交通システム工学科教授 佐田 達典 ・NPO法人ウィーログ 代表理事/CEO 織田 友理子 ・渋谷区福祉部 障がい者福祉課 主任 高橋 雄太 ・ソフトバンク テクノロジーユニット CS室 ROS-SI推進課 課長 古谷 智彦